

# 理事通信

2024年2月号

編集発行 / 西日本区事務局

## 『未来に灯そう希望の光り』

Let's illuminate the light of for the future

2023-2024 年度 西日本区理事 深谷 聡

### 理事通信 第8号



2月に入り、寒さが体に響く様になって参りました。北陸の被災された方々の上に 1 日も早く平安が訪れる事を心より祈ります。

世界のワイズメンは22,000名の会員を擁する国際的な奉仕団体です。その仲間とのクラブ、部、区、国を超えた交流には不思議な力があります。我ら西日本区では石田由美子ワイズ（宝塚クラブ）が中心となるフラダンスグループ Hula Ohana Komohana（西の友達 仲間達）は、西日本区のクラブの垣根を超えたメンバーで華麗なダンスで花を添えて頂いております。フラダンスを通じて、喜びや自然の尊さを皆様も共有されていると思います。そこで与えられた力は戦争や天災で苦しい生活を余儀なくされている方々に寄り添う活動のエネルギーとなり『連帯感を持って共に生きる、共に喜ぶ』を実践し、世界平和の実現の源となると信じて止みません。

2025年西日本区では、熊本でのアジア大会の開催、ラオス YMCA ホテル専門学校の開校の準備が着々と進められております。皆様の協力が必要です。長年の価値ある我らの活動で得られた友情を一つにして、暗い世界に希望の光を灯しましょう。

今こそ『宇宙、人間、自然』この3つのバランスを整え直す時期が来たと私は実感しています。

2023-2024 年度 西日本区理事 深谷 聡

2月の

## 西日本区強調活動

# TOF・FF

世界で飢餓に苦しむ人を想い、TOF 献金を！

西日本区では2月はTOFとFFの強調月間です。TOF（Time of Fast 断食の時）は、ご存じのように例会の食事を抜いてその金額相当を国際協会に献金します。

国際では世界中のYMCAから募集して国際協会が選定する、SDGsに関連する発展途上国を主たる対象とする地域支援プロジェクトに用いられます。2023-2024の支援実績は、事業通信10月1日号でも紹介していますが、貧困の若者や女性や農村に対して技術を学ぶ機会を提供するものなどとなっています。

（具体的には、カメルーンでの森林崩壊を防ぐために植林事業。ナイジェリアで貧困地区の若者の健全な育成のためにYMCA内にバスケットボールコート建設、大洪水に見舞われた地域の支援。ネパールで女性の職業訓練と、高齢者に健康的な食事の提供。ミャンマーで農業研修。インドで社会から疎外された人のための農業プロジェクト、経済的に困窮した若者に仕事をマッチングする、貧しい農村の学校に机とイスを提供。ペルーでモルモットを育て糞をバイオガスとして暖房などに利用する。コロンビアで貧しい若者に職業訓練を行う。）

今年度のTOFの献金目標は一人当たり1,000円です。

そして、CS、FF、TOF、RBM献金の表彰対象としての締切は3月15日です。（献金自体は1年中、受け付けております。）どうぞよろしく申し上げます。

2023-2024年 西日本区 地域奉仕・環境事業主任  
川口 恵（名古屋）



## 今月の聖句

あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。  
主はすぐ近くにおられます。

フィリピの信徒への手紙 4章5節

### 聖書の小窓

#### 「近くにある」

ある神父の本に面白い話がありました。

ある晩一人の男が電話をかけました。幼い子どもが電話口に出て、次のような会話が始まりました。

「お父さんと今話せるかな？呼んでくれる？」

(ひそひそ声で)「ううん、おとうさんね、いまいそがしいの」

「じゃあ、おかあさんと話せる？」

「ううん、おかあさんもいそがしいの」

「お兄ちゃん、お姉ちゃんたち誰がいる？」

「うん、いるけどね、みんないそがしいの」

「ほかにだれか家にいる？話したいのだけど」

「近所のひとたちみんないるけど、み～なとつてもいそがしいの」

「ほかにだれかいる？」

「しんせつなおまわりさんがいるけど、とつてもいそがしいの」

「ほかにだれがいるかな？」

「うん、きゅうきゅうしゃとね、しょうぼうたいのひともいるけどいそがしいの」

男性は「いったい何が君の家でおこっているの？」と聞きました。小さな声はいたずらっぽい調子でこうささやきました。「みんなぼくをさがしているのだよ！」と。

私たちも右往左往して自分を捜しているかもしれません。大切なものはきっと身近にあるはずです。ゆっくりおちついて自分とワイズ活動を見つめてみませんか。きっと今やるべきことが見えてきます。よね。

## 「暗闇の中にある人が輝けるように」

西日本区担当主事 有田征彦（横浜とつか）

### ■不安の中での年明けと募金開始

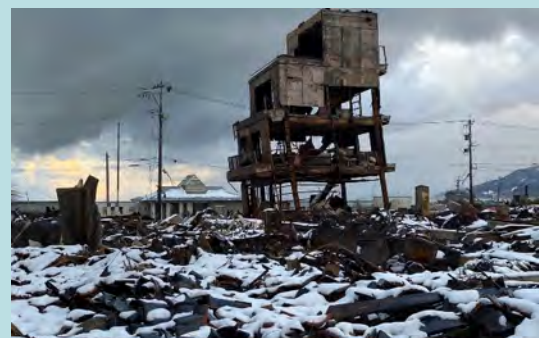
本来ならば希望に満ちた1月1日という日が一瞬にして崩れた能登半島地震。翌日はその支援機と民間航空機の日を疑うような事故。不安の中で迎えた2024年の幕開けとなりました。日本YMCA同盟では1月2～3日にかけて富山YMCA、金沢YMCA及び全国YMCAの会員・職員の安否や被害状況の確認をしました。幸いにも人的被害はなく、YMCAの建物にも大きな被害はありませんでした。多くのYMCAで事業が開始される1月5日に能登半島地震YMCA緊急支援募金を開始しました。その時点では具体的な支援活動が検討できる状況ではありませんでしたが、半島特有の課題や被害の大きさを考えると復興の道りが長期化することは明確で、支援活動が具体化した時にスピード感を持つための判断でした。開始早々、いくつものYMCAで一斉、街頭募金が行われ、多くのワイズメンにもご協力をいただきました。

### ■被災地視察

1月7～9日、先遣隊としてYMCA同盟・東京YMCAスタッフで被災地を視察しました。石川県庁、金沢YMCA、富山YMCAを訪問し、その後、富山YMCAスタッフと共に七尾市及び輪島市の被災地を視察、現地で災害支援NPOと合流後、大きな規模の避難所を訪問しました。七尾市では清水淳ワイズ（西日本区書記）と合流し、再会を喜び合い、清水ワイズの道案内で輪島市に入りました。輪島市では報道でも大きく取り上げられている朝市通りの火災現場跡にいきましたが、それは想像を絶するものでした。自衛隊と消防が行方不明者の捜索をしており、その様子を、雪の降る中、手を合わせてじっと見つめるご家族の姿に言葉には言い表せない思いがこみ上げてきました。その後、訪問した避難所では400名の避難者を被災者でもある市の職員が3名で運営するという厳しい現実を目のあたりにしました。



輪島市内倒壊した家屋の一部



輪島朝市の火災現場跡

## ■支援活動の開始

1月7日、視察のために石川県庁を訪問した際に2日後（9日）に開設が予定されている金沢市1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）の話を伺いました。金沢市内は半島に比べ被害も少なく通常の生活環境となっており、厳しい環境下にある半島の避難所から避難者に移動してもらい、2次避難所に送るための施設ということでした。ところが、県の職員も施設を運営するスタッフも避難所運営のノウハウが無く、内閣府より熊本地震の際に最も大きな避難所（益城町総合体育館）を民間初の運営経験のあるYMCAに開設にあたってのアドバイザーとしての支援要請がありました。YMCAでは急遽、大阪YMCAよりスタッフを派遣し、その開設準備をサポート、1月末現在も全国各YMCAから数名のスタッフをリレー形式で繋ぎ、初期運営のサポートを続けています。運営する県職員へのアドバイス、避難所環境の整備、避難所を支援する様々な団体の調整や運営の組織化など、大きな役割を果たしています。

## ■輪島市避難所の運営支援

輪島市は半島の中でも最も被害が大きく、(1/23現在)未だ3,500名の方が避難生活を送っており、約100ヶ所の避難所があります。避難所運営は基本的に市の職員があたっていますが、その90%が被災者でもあります。先遣隊の視察の報告を受けて、東京YMCAでは1月24日より輪島市立東陽小学校・中学校の避難所のサポートの為にスタッフの派遣を開始しました。駐在スタッフ1名と支援スタッフを2名程度、これもリレー形式で2月末まで派遣し被災しながら避難所を運営する市の職員を支えています。東日本大震災において石巻センターを立ち上げ活動した経験を持つ東京YMCAの経験が活かされています。

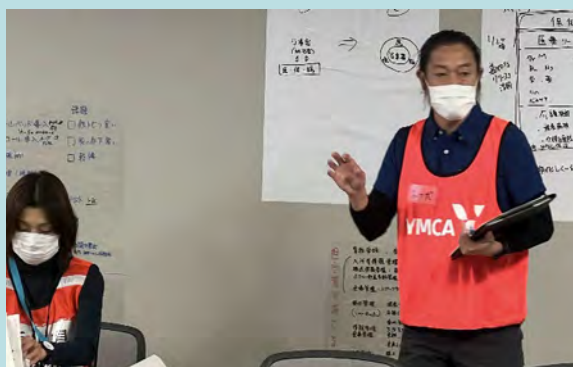


1.5次避難所に作られたキッズスペース

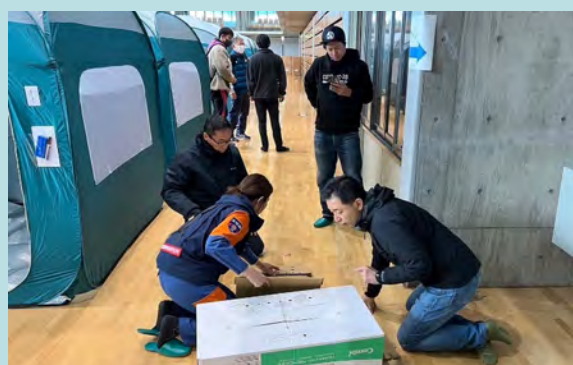
## ■富山 YMCA 支援活動

今後、特に被害の激しい半島のライフラインや道路状況などが改善した際には富山 YMCA を中心に金沢 YMCA、全国 YMCA が協力し、支援活動を展開していく予定です。東日本大震災、熊本地震の際には、子どもたちのリフレッシュプログラムや学童保育、子育て広場そして保護者やシニア向けのホッと一息するカフェや健康体操など、人びとに笑顔が広がる活動を行いました。こうした経験を活かし、能登半島の人々が輝く場を提供できるよう長期的な活動を検討しています。

YMCA は決して災害支援のエキスパートではありません。しかし阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など災害が起こる度に地域に寄り添い、YMCA にできることを YMCA らしく実施してきた経験が内外から評価を受け能登半島地震の支援活動に繋がっています。「光は暗闇の中で輝いている」はご存知のとおり、コロナ禍で策定された「日本 YMCA 中期計画（2021 年～2024 年）」の基本聖句です。YMCA が灯台のように暗闇を照らすわけではありません。暗闇の中にある人が、本来もっている賜物を輝かせることができるような場や機会を YMCA が提供して初めて YMCA も光り輝くのです。能登半島地震の支援活動もそのような思いの中で展開していきたいと思えます。



1.5 次避難所で活動する YMCA スタッフ



1.5 次開設準備 YMCA スタッフ

# 周年記念例会予定



INTERNATIONAL

## 40周年記念例会

京都

# めいぶる

テーマ: 繋ごう 未来へ向けて

開催日: 2024年3月23日(土)  
時間: 16時00分~19時00分(登録開始: 15時00分)  
場所: ウェスティン都ホテル京都 瑞穂の間  
登録費: 12,000円



## 京都めいぶるワイズメンズクラブ 40周年記念例会

日時 2024年3月23日(土)  
16時00分~19時00分  
(受付開始 15:00)

会場 ウェスティン都ホテル京都 西館4階「瑞穂の間」  
京都市東山区三条蹴上  
TEL: 075-771-7111  
<http://www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto/>

登録費 12,000円



感謝

## 京都トップスワイズメンズクラブ 30周年記念例会

KYOTO TOPS Y' S MEN' S CLUB  
memorial meeting

# 謝

## 2024.4.20 sat

16:00 受付開始  
17:00 記念式典  
18:15 懇親会  
20:30 閉会

例会登録費 12,000円

ウェスティン都ホテル京都  
京都市東山区粟田口華頂町1

■アクセス  
■アクセス  
■アクセス



KYOTO TOPS Y' S MEN' S CLUB

## 京都トップスワイズメンズクラブ 30周年記念例会

日時 2024年4月20日(土)  
17時00分~20時30分

会場 ウェスティン都ホテル京都  
京都市東山区三条蹴上  
TEL: 075-771-7111  
<http://www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto/>

 **ワイズメンズクラブ国際協会**

# 第27回西日本区大会

**2024年 6月8日(土)**

会場：名古屋市公会堂  
懇親会：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

頼れるワイズ  
それはあなた！  
「ライオン」やあせな古屋へ  
やんかめたはわ



**INTRODUCTION TO THE VENUE**

■名古屋市公会堂  
Nagoya Civic Assembly Hall  
国登録有形文化財(建造物)

■ホストクラブ / 金沢クラブ・名古屋クラブ・名古屋東海クラブ・名古屋グランパスクラブ・ひやまクラブ

ワイズメンズクラブ国際協会 第27回西日本区大会

2024年6月7日(金)

前夜祭：ANAホテルグランコート名古屋

2024年6月8日(土)

区大会：名古屋市公会堂





2024年1月25日

ワイズメンズクラブ国際協会  
西日本区の皆様へ

西日本区理事 深谷 聡  
西日本区書記 清水 淳

## オフィシャルエージェント募集のお知らせ

### ～2024年チェンマイ国際大会～

拝啓、皆さまには常日頃ワイズ・YMCA活動に奉仕を頂き感謝を申し上げます。  
さて、2024年8月8日(木)～8月11日(日)@タイ王国 チェンマイ において「国際大会」が開催されます。コロナ禍が落ち着きつつありますが、世界では戦火に見舞われている地域もございます。このような状況ではございますが、2024年国際大会の登録案内が届きました。

つきましては、本イベントに参加される皆様の安全と利便性を考慮しオフィシャルエージェントを募集します。下記資格要件を満たし、応募下さることをお願い申し上げます。

敬具

記

- ワイズメンズクラブ国際協会国際大会
- 2024年8月8日(木)～2024年8月11日(日)
- 会場 タイ王国・チェンマイ
- 応募資格
  - (1) 国外において主催旅行を企画できる資格のある事業者であること
  - (2) 緊急の場合において日本国内での対応ができること
  - (3) 国際大会・アジア太平洋地域大会の登録、運営についての知識があること
- 提出先 西日本区書記 清水 淳 宛  
e-mail : [shimijun0429@outlook.jp](mailto:shimijun0429@outlook.jp)
- **提出期限 2024年2月16日(金)必着**とします、期限を厳守してください。

## 第31回アジア太平洋地域大会開催決定

2025年8月に熊本の地で、第31回アジア太平洋地域大会が開催されます。  
西日本区全体で協力をして成功させましょう！

### (仮称) ラオスに YMCA を！

第2回役員会で(仮称)ラオスにYMCAを！特別委員会設置が承認をされ以下のとおりとなりました。

委員会構成は当該理事・次期理事・直前理事の他にラオスにYMCAを！有志の会から3名程度の合計6名とする。

委員長は特別委員の中から互選とし理事承認を得るものとする

YMCA 国際ホテル専門学校開校(2025年)を当面の期間とし、期間延長等は協議する  
規則の制定を後日提示し臨時役員会で検討する。

上記の制定及び施行日は臨時役員会にて決定する。

「ラオスにYMCAを！有志の会」を西日本区として可能な範囲で支援し、東日本区への協力体制の要請・アジア太平洋地域ならびにYMI(国際協会)への協力体制をアピールすることが承認されました。また具体策の実施については、中期の取組が想定されるため、西日本区から支援委員(当該理事)を選任し、必要に応じて都度当役員会において協議をします。ついては、今後、西日本区として支援して参ります。

2023年12月8日(金)京都WITH YOUにて在駐日ラオス人民民主共和国大使ファオンサムット・アンラワン氏をお招きし「ラオスにYMCAを！有志の会 報告&忘年会」が開催されました。大野嘉宏ラオス人民民主共和国名誉領事(京都パレス)からYMCAホテル専門学校をラオス国立大学の敷地内に開校予定であり、日本経済産業省、日本外務省の協力があり進めていると進捗状況の報告がありました。

西日本区第2回役員会で、(仮称)ラオスにYMCAを！特別委員会設置が決まりました。

役員会において、社会主義国や他国の影響がある状況を不安視する意見が出されましたが、大野嘉宏名誉領事の話聞き少しは懸念が払拭された感がありました。今後西日本区が先導し東日本区やアジア地域にも協力の要請をして参りますが、会員皆様のご協力なくては達成できない事業ですので、今後情報が入り次第その都度お知らせを致します。どうぞご協力賜ります様宜しくお願い申し上げます。また、この会には三等書記官のラッタナポン・ウドムヴィライ氏と大阪大学在学中のピッピーさんに同時通訳を務めていただきました。



# 新入会員

新しい仲間をご紹介します。

## 京都パレスクラブ

魚住 志麻 (うおずみ しま)      上野山 由紀 (うえのやま よしのり)  
豊福 火水成 (とよふく ひみなり)      植田 泰司 (うえだ ひろし)

入会式: 2024年1月10日

入会式: 2024年1月24日

## 京都エイブルクラブ

岡田 久 (おかだ ひさし)

入会式: 2024年1月16日

## 神戸ポートクラブ

中村 茂高 (なかむら しげたか)

入会式: 2024年1月24日

## 京都洛中クラブ

岡西 敬延 (おかにし たかのぶ)

入会式: 2024年1月25日

## 福山クラブ

ダシゼヴェグ・プレダシ  
与那覇 英彦 (よなは ひでひこ)

入会式: 2024年1月27日

## 神戸クラブ

清水 美恵子 (しみず みえこ)

入会式: 2024年2月13日